

会社名	東洋工業株式会社
部 署	東日本第三営業部
役 職	部長
氏 名	深堀 義徳 様

まず、東洋工業様のお仕事の内容と PR ポイントを教えてください。

弊社は 1953 年にコンクリートブロックメーカー『四国ブロック興業株式会社』として香川県高松市で創業致しました。その後、時代の変遷と共に 1972 年から化粧ブロックの製造販売を開始。翌年には、コンクリート擬木の製造販売を始めると共に、公共事業分野にも進出を致しました。

その後、製造工場も 1980 年に福岡工場、1989 年に関東工場が操業開始。1992 年に現在の東洋工業株式会社へ社名改称を行いました。1997 年に三重工場が操業を始め現在の製造体制になると共に、営業エリアも東北から九州エリアまで全国のネットワーク化を図りながら、現在も物流拠点の整備を推し進めております。

現在では、エクステリア&ガーデン事業と公共事業や大型民間再開発等を担当するランドスケープ事業の 2 つを中核事業として全国展開を行っております。特に、ランドスケープ事業用には、多種多様な機能性舗装材を中心に展開を行っております。その中に於いて、不陸抑制型舗装材:ワンユニオンシリーズや、色をコンセプトとした地色舗装材:ベーシックパイブシリーズを中心に、当社オリジナルのコンセプトと技術を基に開発された商品群をご提供しております。舗装材以外にも、ストリートファニチャーやユニットイレ、サイン等をラインナップしここ数年は、大判・高強度の輸入タイルの取り扱いも行い、多種多様なランドスケープ空間全体に提案出来る体制を強化しております。



街路とお取引が始まったきっかけは何でしょうか。

唐澤専務が、弊社現社長の河田と以前から面識があり、今回お声がけを頂くきっかけとなりました。

街路とお取引を始めて御社にとって良かった点や今後街路に求めていきたいことを教えてください。

現状は関係性がスタートしたばかりですので、今後についてお話しをさせていただきます。株式会社街路様は、従来弊社が普段お付き合いのある、商社様、ゼネコン様等とは違った側面をお持ちだと考えております。唐澤専務を中心に、ブロック系舗装材に関しても深い造詣をお持ちであると

共に道路ゼネコンとしての経験や実績を兼ね備えておられます。そういった点からも、新しい関係性の構築が可能ではないかと考えております。

今後、街路とどのように協力関係を強めていきたいかについて教えてください。

株式会社街路様も、今後ランドスケープ事業に本格的に取り組んでいかれるとお聞きしておりますので、両社の足りない面をお互いに補完しあいながら、新しい関係性の構築と共に品質・技術・施工等総合的な面で新商品や新技術等に繋がる取組へ発展していけたらと考えております。



不陸抑制型舗装材:ワンユニオンパイブ 保水タイプ KI



TOYO ユニバーサルパイブ NEO 保水タイプ



地色舗装材:ベーシックパイブ 02 粗研磨仕様



透水性舗装材:グランデパイブ



特注 セラミカタイル